

## 耐皮脂性1液架橋型水性塗料

## アレス水性ネクストII

系 統 アクリル樹脂エマルジョン塗料

適用規格 —

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

## 特 長

- 1) 一般の水性塗料に比べ滑らかな肌で、セミグロス(3分・5分)が得られます。
- 2) 汚れがつきにくく、皮脂による塗膜軟化に強い塗膜を形成します。
- 3) 環境にやさしい水性塗料です。(VOC 1%未満)
- 4) 屋内の鉄部、木部、石膏ボード等への完全水性仕様の適用が可能です。
- 5) 抗菌性・防カビ性を有します。
- 6) ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、および鉛化合物を配合していません。
- 7) 防火材料認定品(JASS18の仕様に準拠します)  
 NM-8585(塗料塗装/不燃材料)  
 QM-9816(塗料塗装/準不燃材料)  
 RM-9364(塗料塗装/難燃材料)
- 8) F☆☆☆☆表示製品です。

## 塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	15kg 4kg
2 混 合 比	—
3 色	白および各色
4 つ や	5分つや、3分つや
5 仕 上 げ 感	平 滑
6 塗 料 比 重	1.27(白および淡彩色)
7 溶 剤 比 重	1.00(上 水)
8 加 熱 残 分	57%
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	—
11 有 機 則 / 特 化 則	—
12 消 防 法 による 危 険 物 区 分	非危険物
13 硬 化 剤 の 成 分 による 区 分	—

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

## 塗装条件

塗装方法	は け	ローラー			
希 積 率	3~8%	3~8%			
標準塗付量 (kg/㎡/回)	0.08~0.12	0.08~0.12			
希 積 剤	上 水				

- 注) (1) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。  
 (2) 標準塗付け量は、0.06~0.09(kg/㎡/回)です。  
 (3) 所要量・塗付け量の定義は、JASS18に準拠しております。

## 塗装間隔

項 目		温 度	
		23℃	5~10℃
標準塗装間隔	最 短	2 時間	3 時間
	最 長	7 日	7 日
使 用 時 限		—	—

## 主な適用素材

屋内鉄部面(さび止め後)  
 屋内木部面(目止め、シーラー塗装後)  
 屋内コンクリート・モルタル・石膏ボード面(シーラー塗装後)

## 主な適用下塗塗料

鉄部面: アクアマックスEX II、スーパーザウルスII、ザウルスEX II  
 木部面: アクアグランドコートII、ホルス下塗白(F4)  
 コンクリート・モルタル・石膏ボード面: エコカチオンシーラー、EPシーラー

## 主な適用中塗塗料

## 主な適用上塗塗料

## 使用上の注意事項

- 1) ローラーは短毛ローラーを使用して下さい。中毛ローラー等で塗装すると塗りつけ量が多くなりタレ易くなりますのでご注意ください。
- 2) 開缶後よくかきまぜて均一にしてから使用して下さい。
- 3) 性能を発揮する塗膜を形成するのに必要な最低造膜温度があるため、5℃以下の使用は避けて下さい。
- 4) 夜間などは気温の低下によって結露し、塗面にシミがついたり、塗料をタレさせたりすることがあるので、冬期や雨天の塗装には特に注意して下さい。
- 5) 高温(40℃以上)および低温(0℃以下)での保存は避けて下さい。
- 6) 金属面が露出している場合は、適切なさび止め塗料でタッチアップをしてから上塗り塗装をして下さい。
- 7) 新装時にさび止め塗料が工場塗装されている場合や、塗り替え時に旧塗膜が光沢を持っている場合は事前に入念な目粗しを行って下さい。
- 8) 塗装用具(ハケ・ローラー)によって、色・つや感が異なって見える場合がありますので、できるだけ同一用具で仕上げして下さい。
- 9) 仕上げ後、キズや汚れ部を補修する場合は部分補修(タッチアップ)を行わず、全面あるいは区切りのよい面で補修を行って下さい。(部分補修した所では色・つや感が異なって見える場合があります。)
- 10) ドアのゴムパッキンなど可塑性剤を含む物は塗膜に触れないように注意して下さい。塩ビ鋼板(樹脂化粧鋼板)には塗装しないで下さい。
- 11) 換気のよい場所で取り扱い、容器はその都度密栓して下さい。
- 12) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

※本製品説明書の内容には、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。